

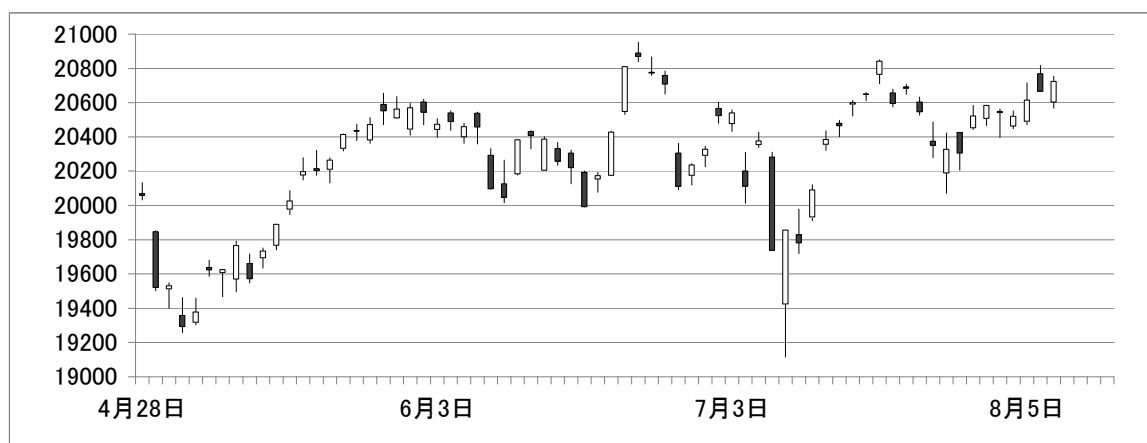
株式市場概況

先週の動き（8月3日～8月7日）

日経平均株価は前週末比+0.68%の2万724円と小幅上昇となった。米国で「利上げが9月にもある」との中銀関係者からの発言があり、ドル円は125円手前まで円安ドル高に動いた。円安が日経平均先物を上昇させる要因だったが、物色されるのは内需関連という複雑な動きとなった。日本企業の決算内容は好調なものが目立った。

一方で米国株は企業決算の内容が芳しくないため、S&P500指数は前週末比-0.96%と小幅下落となっている。また、原油価格が44ドル台まで下落し、エネルギー関連企業を集めた指数は1週間で10%近い下げを見せた。

日経平均株価(2015年4月28日～)



セクター別ではバルティック海運指数（運賃の指数）が上昇した海運が上昇率トップとなった。それに企業の決算内容が好調だった金属、ガラス土石などが続いた。下落率上位は決算の内容が嫌気された倉庫・運輸、原油価格の下落の影響から石油・石炭などとなった。

スタイルインデックスでは、このところ弱さが目立ったグロースが上昇した一方で、堅調だったバリューが伸び悩んだ。東証一部が堅調で、東証二部とマザーズが弱く、大型株が選好される動きが目につく。

表1. セクター、スタイル・インデックス動向

セクター動向(先週末比)			各種国内株式指数動向(先週末比)		
金属製品	5.35%	倉庫運輸	-2.66%	TOPIXグロース	1.68%
ガラス土石	4.81%	石油石炭	-2.38%	TOPIXバリュー	0.71%
海運	4.66%	証券商品先物	-1.08%	ミッド400	1.52%
パルプ紙	3.99%	水産農林	-0.78%	TOPIX	1.19%
医薬品	3.58%	鉱業	-0.76%	TOPIXスモール	1.10%
建設業	3.53%	小売業	-0.53%	TOPIXコア30	1.05%
				TOPIXL70	1.00%
				東証2部	-0.56%
				マザーズ	-3.48%
				日経平均株価	0.68%
				REIT指数	0.00%

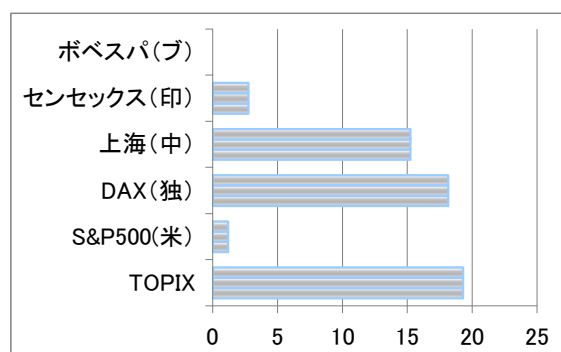
今後の注目点

7日夜に米国の雇用統計（注目されるのは非農業部門雇用者数の値）が発表される。この値が良ければ、FRB がいいよ9月に利上げを行う可能性が高まり、市場ではそれに備えた動きが出始めるかも知れない。しかし、その前哨戦である ADP 雇用統計は、予想を下回った上に前月分も下方修正されるなど冴えない値となっており、今週から米国の利上げに向けた本格的な動きが出る可能性は低い。

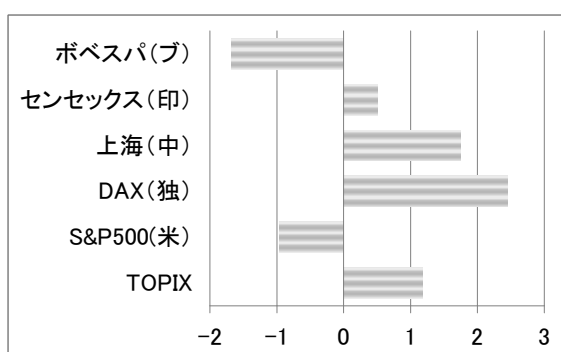
そうなれば、日本はお盆休みということで、指数自体にはそれ程動きが出ない展開が想定される。日本企業の決算発表のピークは7日だが、今週もほぼ毎日100社以上の決算発表が行われる。そのため、日替わりで盛り上がる銘柄が変わる相場となるだろう。

資料 各国株価動向

年初来上昇率(%) 値は31日引け時点)



前週末比(%) 値は31日引け時点)



株式市場需給動向（7月5週：7月27日～7月31日）

7月5週の投資部門別売買動向は、投資信託、自己が買い越す一方で、海外投資家が大幅に売り越した。信用買い残高は+296億円、裁定買い残高は55億円の増加となった。

投資主体別売買動向(2015年7月5週)

	現物(億円)	先物(億円)	差引(億円)
自己	-73.72	866.92	793.20
委託	95.12	-628.53	-533.42
自己・委託合計	21.39	238.39	259.78
法人	970.65	1452.40	2423.05
個人	-527.85	717.01	189.16
海外投資家	-242.41	-2793.62	-3036.03
証券会社	-105.26	-4.33	-109.60
投資信託	335.04	1842.24	2177.27
事業法人	257.24	-10.86	246.38
その他法人	143.17	49.19	192.36
金融	235.20	-428.17	-192.96
生保・損保	-125.69	-178.41	-304.10
都銀・地銀	76.61	-127.90	-51.30
信託銀行	302.10	-120.15	181.95
その他金融機関	-17.81	-1.69	-19.51

(価格データはブルームバーグによる)

光世証券 小川 英幸

本資料は、情報提供のみを目的として作成したもので、いかなる有価証券等の売買の勧誘を目的としたものではありません。また、一般的あるいは特定の投資助言を行うものでもありません。本資料は、信頼できると判断した情報源から入手した情報・データ等をもとに作成しておりますが、これらの情報・データ等また本資料の内容の正確性、適時性、完全性等を保証するものではありません。情報が不完全な場合または要約されている場合もあります。本資料に掲載されたデータ・統計等のうち作成者・出所が明記されていないものは、当社により作成されたものです。本資料に掲載された見解や予測は、本資料作成時のものであり予告なしに変更されます。運用方針・資産配分等は、参考情報であり予告なしに変更されます。過去の実績は将来の成果を予測あるいは保証するものではありません。

光世証券株式会社 金融商品取引業者 近畿財務局長(金商)第14号 加入協会／日本証券業協会